

小規模事業者海外展開支援成果事例

【事業名】フランスでの黒棧革販路開拓

坂本商店

会社概要

- 所在地 姫路市花田町小川 367-1
- 代表者 坂本 弘
- 業種 皮革製品製造業
- 業務概要 鞆・小物等で使用する姫路黒棧革の製造・販売
- 売上高 1000万円
- 従業員数 2人
- URL <http://himejikurozan.net>
- 海外展開計画 香港及びパリを中心とするEU諸国



なめし作業

■事業概要

1923年に剣道具の胴胸に使用される牛革漆ぬり革や竹刀の柄革、中ヰ、先革の製造で創業しました。牛革の表面のシボに漆を施す黒棧革は、国産黒毛和牛を使用して日本古来の伝統技法である「なめしの技術」と「漆塗りの技術」を融合させたものです。黒棧革は、まるで小さなダイヤの粒を無数に散りばめたように美しく「革の黒ダイヤ」とも呼ばれています。固くて摩耗にも強く、戦国時代には武将の鎧、冑の極上物として武具に使用されていた代物で、余程の達人でも切れなかったという貴重なものでした。先々代から受け継いだ黒棧革をファッション用に使えないかと思い立ち、なめしから加工の全工程を自社でやるというこだわりをもとに研究を重ねてきました。まず、黒毛和牛の原皮を脱毛し、白くなめし、植物からとった「渋」に浸透させます。

ここ十年近くはタンニンなめしの技術も取り入れました。次に液状の鉄に浸透させ、渋と鉄の化学反応により茶色の牛革が黒くなっていきます。シボに手作業で漆を施し、乾燥と塗りを繰り返し行います。幾層にも塗り重ねることで漆の光沢とボリューム感が生まれ、革の艶に深みが増していきます。工程の差異によりシボは、型押し・極上黒棧（手もみ）『極



パリでの商談

KIWAMI』と表情を変えます。手間をかけて完成した黒棧革は数少なく、専門の職人でも月に20枚程度しか作れない大変希少なものです。こうした努力が実を結び、「サムライ以来の伝統的な革をかばんや靴などの現代ファッションの域に高めた」との評価をいただき、数々の賞をいただきました。さらに市場でも評価され、是非手に入れたいと思ってもらえるよう努力を重ね、日本から世界へ発信できる「姫路黒棧」ブランドを確立すべく事業展開を行っております。

■海外展開の動機と狙い

長年積み重ねた研究の成果を問うべく、国内のさまざまなコンテストに参加しました。2004年にひょうごニューレザーコンテストで優秀賞を受賞したのを皮切りに2010年にも同コンテストで知事賞を、2012年には経済産業省製造産業局長賞&日本エコレザー大賞を受賞しました。ここにきて国内だけではなく、海外ファッションの現場でも勝負したいとの思いから、2013年3月、香港で開かれる世界最大級の皮革見本市「アジア・パシフィック・レザーフェア 皮革素材展」に出展し、香港向けマーケティング調査を行うことにしました。

この展示会では1984年から続く見本市で靴やかばんの素材となる革の優劣を競うコンテストが実施されています。2014年3月の出展に際して、兵庫県香港事務所を訪ね、効果的なPR方法、現地有名ブランド会社へのアクセスについて相談したところ外国語パンフレットが重要であるとのアドバイスを頂きました。また、現地有名ブランドに連絡をとっていただき、その中から関心を示した会社と商談会も行いました。商談会での通訳の支援もいただくなど、兵庫県香港経済交流事務所には大変お世話になりました。そして「極（きわみ）」と命名した作品でコンテストに臨み、最高位に位置付けられている「ベスト・ニュー・レザー大賞」受賞の榮譽に浴しました。本場イタリアやイギリスの職人から「頑丈なのにゴムのように弾む。こんな革は初めて。」などの評価を受け、兵庫・姫路の伝統技術が世界一と認められたことを本当にうれしく思いました。

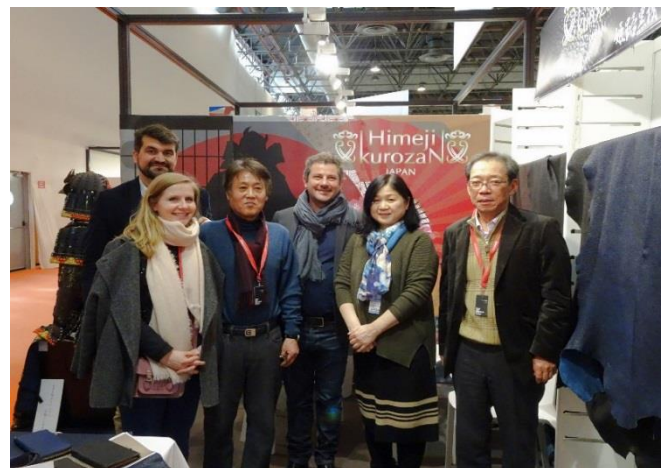


2014年3月香港で大賞受賞

■ひょうご海外ビジネスセンターの支援を受け、欧州へも展開、成果も

日本のなめし革が値段の安い海外の革に押されている現状を何とかして打破したいと思っていた矢先、香港での展示会で最高位の賞を受賞し、いよいよ皮革の本場、欧州へ挑戦することとし、まずはパリから手掛けることにしました。

兵庫県香港経済交流事務所とのコンタクトがきっかけで、公益財団法人ひょうご産業活性化センター ひょうご海外ビジネスセンターの支援を受けることとなりました。2016年2月にパリで開催されるファッション素材国際見本市「プルミエール・ビジョン、パリ」に出展するにあたって、どのようにアプローチしたらよいか、テキスタイルの展示会情報などを相談しました。すぐに兵庫県パリ事務所に連絡をとって支援要請をしていただいたので、兵庫県の「じばさん兵庫ブランド創出支援事業の助成金」制度を



プルミエール・ビジョン、パリのブース



ブースでの商談風景

活用して2015年9月にフランスに赴いた際にパリ事務所を訪ねると、パリ事務所のネットワークで紹介いただいたプリミエール・ビジョン主催関係者から親切な助言をいただき、無事出展できる運びとなりました。また、貿易実務や海外営業の経験がありませんでしたので、ひょうご海外ビジネスセンターから貿易取引や契約など基本的なことについて指導・助言をいただきました。また、同センターがひょうご・神戸国際ビジネススクエアとして連携されているジェトロ神戸にも繋いでいただき、パリの販売コンサルタント会社の紹介や、パリでの展示会への出展について支援を頂くことができました。この

ように、ひょうご海外ビジネスセンターを核に兵庫県パリ事務所とジェトロ神戸との連携のもとに頂いたさまざまな支援により具体的成果も得ることができました。

2016年2月16日～18日に開催されたファッション素材国際見本市「プルミエール・ビジョン、パリ」に出展した際にも、兵庫県パリ事務所に色々な御支援もいただき、世界的有名ブランドとの商談も数十社に及び受注もいただきました。

その後、2016年6月22日～29日に再度パリへ出張し、前回の展示会で知り合ったバイヤー数社との商談を実施しましたが、この時もサンプルを兵庫県パリ事務所へ予め送らせていただくことができたので、大変助かりました。

また、2016年9月13日～15日に開催された「プルミエール・ビジョン・パリ」に出展し、皮革部門3つの賞の一つである（PVアワード・ハンドル賞）を国内製革事業者として初めて受賞いたしました。

■今後の見通し

香港の展示会で最高位の賞を受賞したのをきっかけに、ヨーロッパでも新たに挑戦しパリの国際見本市でも受賞するなど、海外でも評価を頂きました。この実績を元に課題解決に向けた工夫を行い、さらに販路を拡大できればと考えております。



2016年9月13日の授賞式

■海外展開促進員より （浅川史朗）

高い付加価値のある技術があれば場所及び規模の大小に関係なくグローバル展開ができる例として、期待しています。今後ともパリ事務所と連携した販路開拓や商標の外国出願なども継続して支援を行っていきたいと思います。

今後は、黒棧革の販路開拓の成功により注文が増えていった時の生産体制の充実と匠の技術の継承が課題だと思えます。